

# WIT科目シラバス

実施時期: 1年次3学期

担当講師: 本田 美邦里 先生

科目名: TOEFL PBT 対策講座(中上級)

使用テキスト: プリント

単位数: 2

概略(科目内容・目的・到達目標など)

行います。  
KUIS英米語学科編入希望者(合格者)で基準をクリアしていない学生は必ず履修をしてください。  
編入学でTOEFLスコアを要している場合も受講可能です。授業レベルはTOEIC600点程度としています。  
2学期に行われる大学編入課程の中のTOEFL対策講座を受講して、こちらの講座を継続受講することが理想です。

週	授業内容・学習目標	備考
第1週	①TOEFL英文法(複文問題・比較) ②リスニング(基礎解法)/長文読解演習	
第2週	①TOEFL英文法(省略問題・動詞) ②リスニング(基礎解法)/長文読解演習	単語テスト① 小テスト①
第3週	①TOEFL英文法(倒置問題・動詞) ②リスニング(否定文)/長文読解演習	単語テスト② 小テスト②
第4週	①TOEFL英文法(倒置問題・受動態) ②リスニング(よく出る表現)/長文読解演習	単語テスト③ 小テスト③
第5週	①TOEFL英文法(レビュー問題・名詞) ②リスニング(比較表現)/長文読解演習	単語テスト④ 小テスト④
第6週	①TOEFL英文法(代名詞・形容詞・副詞) ②リスニング(イディオム表現)/長文読解演習	単語テスト⑤ 小テスト⑤
第7週	①TOEFL英文法(形容詞・冠詞) ②リスニング(PartB&C)/長文読解演習	単語テスト⑥ 小テスト⑥
第8週	3学期の復習・模試	

出席30%、単語テスト・小テスト50%、模試(期末テスト)20%

2授業時間(45分×2)を週1回、合計8回の授業を受講し合格した場合に、選択科目として1単位を認定します。

# 第2期大学編入課程シラバス

実施時期: 1年次3学期

担当講師: 高田

科目名: コミュニケーション学概論

使用テキスト: プリント

## 授業概要

\* コミュニケーションに関する基本的な知識・用語・意味の確認を行います。  
\* 皆さんに考える力をつけてもらうためにブレインストーミングを行い、コミュニケーション力の向上のため、また実践から学ぶために、意見交換をします。

週	授業内容	備考
第1週	コミュニケーションとは	
第2週	メッセージ・コミュニケーションプロセスとシンボル	
第3週	ことばの役割	
第4週	非言語コミュニケーション	
第5週	認識とコミュニケーションへの影響	
第6週	人を動かすコミュニケーション能力	
第7週	自己理解、自己開示/文化	
第8週	異文化コミュニケーション	

## 評価方法:

**FまたはPでの評価となります。**

2授業時間(45分×2)を週1回、合計8回の授業を受講し合格した場合に、選択科目として1単位を認定します。

# 第2期大学編入課程シラバス

実施時期: 1年次3学期

担当講師: 赤川 維知子

科目名: 英米文学概論

使用テキスト: プリント 参考文献:

## 授業概要

編入試験によく出題される傾向のある英米文学の代表的な作家や作品、文学用語、また時代背景と文学の関連を学びます。

週	授業内容	備考
第1週	Introduction / シェイクスピアの四大悲劇を学ぶ	
第2週	イギリス文学の代表的な作品と時代背景を学ぶ 1 古英語時代(ベオウルフ)～17世紀	
第3週	イギリス文学の代表的な作品と時代背景を学ぶ 2 18世紀～19世紀(ロマン主義)	
第4週	イギリス文学の代表的な作品と時代背景を学ぶ 3 19世紀の小説(Dickens)～20世紀	
第5週	アメリカ文学の代表的な作品と時代背景を学ぶ 1 植民地時代～アメリカ・ルネサンス	
第6週	アメリカ文学の代表的な作品と時代背景を学ぶ 2 19世紀 (Mark Twain～)	
第7週	アメリカ文学の代表的な作品と時代背景を学ぶ 3 20世紀 (Lost Generationの作家～)	
第8週	Review / 基本問題復習	

## 評価方法:

**FまたはPでの評価となります。**

2授業時間(45分×2)を週1回、合計8回の授業を受講し合格した場合に、選択科目として1単位を認定します。

# 第2期大学編入課程シラバス

実施時期: 1年次3学期

担当講師: 柿坂 学

科目名: ミクロ経済学

使用テキスト: プリント 参考文献: プリントを配付

## 授業概要

大学編入に必要な理論経済学のうち、ミクロ経済学を学びます。ここで扱ったことは、ミクロ・マクロを問わず、経済学理論を理解するうえでの前提となります。毎回、授業の中で講義と演習を行います。演習の課題は必ず提出してください。ただし、これはあくまで頭の整理の時間であって、試験ではありません。そのため、テキストを参考にしながら解いたうえで、必ず提出してください。実際に授業には顔を出していても、演習課題を提出していない場合、出席にはなりませんので注意してください。

週	授業内容	備考
第1週	<b>分数と傾き、一次関数</b>	
第2週	<b>無差別曲線と最適消費</b>	
第3週	<b>上級財と下級財</b>	
第4週	<b>スルツキー分解</b>	
第5週	<b>生産関数と費用関数</b>	
第6週	<b>利潤最大化</b>	
第7週	<b>供給曲線</b>	
第8週	<b>余剰分析</b>	

## 備考欄

単位認定のある授業について、単位認定(P)を受けるための出欠席および遅刻についての基準は通常授業と同じ(学生手帳P.5~8該当部分参照)

2授業時間(45分×2)を週1回、合計8回の授業を受講し合格した場合に、選択科目として1単位を認定します。

# 第2期大学編入課程シラバス

実施時期: 1年次3学期

担当講師: 辻岡 大介

科目名: 法学概論

使用テキスト: プリント 参考文献:

## 授業概要

基本となる部分を解説しながら試験対策をします。

週	授業内容	備考
第1週	法とは何か 法の意味や法の特性、法と道德の関係などを解説します。	
第2週	法の解釈 法学で何を学ぶか、と、法学の中心である制定法の解釈について解説します。	
第3週	国家、国家権力とは何か 法の源である国家権力について、国家の意義とともに解説します。	
第4週	立憲主義の考え方 憲法を制定しこれを基礎に国家を運営するという考え方について解説します。	
第5週	憲法の概要①(人権思想) 憲法の内容のうち、基本的人権の保障に関する部分を解説します。	
第6週	憲法の概要②(統治機構) 憲法の内容のうち、国の統治機構について定めた部分を解説します。	
第7週	法の種類 憲法を頂点とする法規範の階層的な構造について解説します。	
第8週	日本の裁判制度 日本の裁判制度について、民事と刑事に分けて解説します。	

## 評価方法:

**FまたはPでの評価となります。**

2授業時間(45分×2)を週1回、合計8回の授業を受講し合格した場合に、選択科目として1単位を認定します。

# 第2期大学編入課程シラバス

実施時期: 1年次3学期

担当講師: 龍崎

科目名: 社会学概論

使用テキスト: プリント 参考文献: 随時紹介

## 授業概要

これまで社会学に触れたことのない学生を対象とした導入授業です。まずは社会学の基本的な発想と射程の広さを体感してもらうことと、その上で自分の力で社会的に考える態度を身につけてもらうことを目的としています。

週	授業内容	備考
第1週	社会科学と社会学	
第2週	近代化: 世界の脱魔術化	
第3週	グローバリゼーションとグローカリゼーション: 世界の同質化と差異化	
第4週	監視社会: 「見せる権力」から「見る権力」へ	
第5週	リスク社会: リスクが蔓延する社会を生きるということ	
第6週	格差社会: 再生産される格差	
第7週	セックスとジェンダー: 「生物学的な」性と「社会的な」性	
第8週	メディアと社会: メディアが社会に及ぼす影響	

## 備考欄

単位認定のある授業について、単位認定(P)を受けるための出欠席および遅刻についての基準は通常授業と同じ(学生手帳P.5~8該当部分参照)

2授業時間(45分×2)を週1回、合計8回の授業を受講し合格した場合に、選択科目として1単位を認定します。

# 第2期大学編入課程シラバス

実施時期: 1年次3学期

担当講師: 柿坂 学

科目名: 社会系小論文

使用テキスト: プリント 参考文献: プリントを配付

## 授業概要

社会科学系の学部編入を目指す学生のための小論文試験対策です。さまざまな出題ケースを想定して、対策を行っていきます。必要最低限の知識となる現在の社会現象についての解説と、社会系小論文を書く上で気を付けるべきことについて説明をしていきます。毎回、授業の中で講義と演習を行います。演習の課題は必ず提出してください。ただし、これはあくまで頭の整理の時間であって、試験ではありません。そのため、テキストを参考にしながら解いたうえで、必ず提出してください。実際に授業には顔を出していても、**演習課題を提出していない場合、出席にはなりません**ので注意してください。

週	授業内容	備考
第1週	<b>「論じる」ということ</b>	
第2週	<b>社内公用語英語化</b>	
第3週	<b>東京五輪</b>	
第4週	<b>日本の財政</b>	
第5週	<b>原発再稼働</b>	
第6週	<b>人口減少社会</b>	
第7週	<b>移民</b>	
第8週	<b>人工知能の発展</b>	

## 備考欄

単位認定のある授業について、単位認定(P)を受けるための出欠席および遅刻についての基準は通常授業と同じ(学生手帳P.5~8該当部分参照)

2授業時間(45分×2)を週1回、合計8回の授業を受講し合格した場合に、選択科目として1単位を認定します。

# 大学編入課程シラバス

実施時期: 1年次3学期

担当講師: 近藤 未佳子

科目名: 人文系小論文初級 I

使用テキスト: プリント 参考文献: なし

## 授業概要

文系学部(経済・経営を除く)編入試験の小論文の基本を学ぶ講座です。課題文型(資料を読み取り書く)・テーマ型(資料なしで書く)・志望理由型(専攻言語や研究テーマに関する問い)の練習をします。この講座は、実際に授業内でグループワークをしながら自身の課題を確認し、小論文の書き方、思考の深め方を理解していきます。最終的な目標は、①論文の形式に慣れる、②文の作り方に慣れる、③課題の文章を正確に読めるようにする、④設問に沿った意見が出せるようにする、の4点です。

週	授業内容	備考
第1週	小論文の基礎とアウトラインの作成	
第2週	テーマ型小論文のワークショップ	
第3週	テーマ型小論文のワークショップ	
第4週	テーマ型小論文のワークショップ	
第5週	課題文型小論文のワークショップ(客観的読解)	
第6週	課題文型小論文のワークショップ(批判的読解)	
第7週	課題文型小論文のワークショップ(批判的読解)	
第8週	志望理由型小論文のワークショップと課題小論文の解説	

## 備考欄

単位認定のある授業について、単位認定(P)を受けるための出欠席および遅刻についての基準は通常授業と同じ(学生手帳P.5~8該当部分参照)

2授業時間(45分×2)を週1回、合計8回の授業を受講し合格した場合に、選択科目として1単位を認定します。

# 第2期大学編入課程科目概要

実施時期: 1年次3学期

担当講師: 倉持 益子

科目名: 人文系小論文初級Ⅱ

使用テキスト: プリント 参考文献:

## 授業概要

第1期の続編となります。今回は小論文の内容の充実を目指していきます。内容のある小論文を書くために欠かせないのは、設問の正確な読み取りと主張の設定です。そのためには、分析やそれに基づく論の展開が必要です。これらの力が付くように、毎回出されるテーマに沿ってみんなで考え、実際書いていきましょう。

## 評価方法:

**FまたはPでの評価となります。**

2授業時間(45分×2)を週1回、合計8回の授業を受講し合格した場合に、選択科目として1単位を認定します。

# 第2期大学編入課程科目概要

実施時期: 1年次3学期

担当講師: 稲葉 義孝

科目名: 英語対策講座(英文法語法)

使用テキスト: プリント 参考文献:

## 授業概要

第1期講座の続編として、主に動詞・形容詞などの語法に焦点を当てた講座です。

## 評価方法:

FまたはPでの評価となります。

2授業時間(45分×2)を週1回、合計8回の授業を受講し合格した場合に、選択科目として1単位を認定します。

# 第2期大学編入課程シラバス

実施時期: 1年次3学期

担当講師: 稲葉 義孝

科目名: 英語対策講座(編入対策編)

使用テキスト:

『Next Stage英文法・語法問題 4rd edition』ピアソン桐原

『データベース4500 完成英単語・熟語 4th Edition』桐原書店

## 授業概要

国公立・私立難関合格を目指すための英文解釈・基本的な英文読解問題を扱います。

## 評価方法:

**FまたはPでの評価となります。**

2授業時間(45分×2)を週1回、合計8回の授業を受講し合格した場合に、選択科目として1単位を認定します。